

●調査レポート

第71回 埼玉県内企業経営動向調査－2010年4～6月期－

調査対象：県内企業 977社 調査方法：アンケート方式（5月上旬 郵送回収）

回答企業：276社（回答率28.2%） 業種別内訳：製造業155社 非製造業121社

調査分析方法 BSI方式 各設問に対して、良い・増加・過大と回答する割合から悪い・減少・不足と回答する割合を差し引いた数値で業況などを分析する方式

<概況>

県内企業の業況感は持ち直しの傾向が鮮明になっている。今回調査（4～6月期）の業況判断BSIは-24と、前回（1～3月期）に比べ21ポイントと大きく改善、09年1～3月期の-63を底に5四半期連続の持ち直しとなった。

規模別に見ると、「規模の小さい企業」（従業員100人未満）、「規模の大きい企業」（従業員100人以上）とも「悪い」超幅が大きく縮小している。

業種別に見ると、製造業は、アジア向けを中心とする海外需要の増加、薄型テレビ、パソコンなどのIT需要拡大による売上（生産）高の回復を要因に、業況感の持ち直しの動きが加工組立型の輸送機械、電気・情報通信機械、電子部品・デバイス、精密機械だけでなく、素材型の金属製品、パルプ・紙・紙加工品などの業種にも広がっている。非製造業でも販売（受注）数量が回復している運輸・倉庫などで持ち直している。

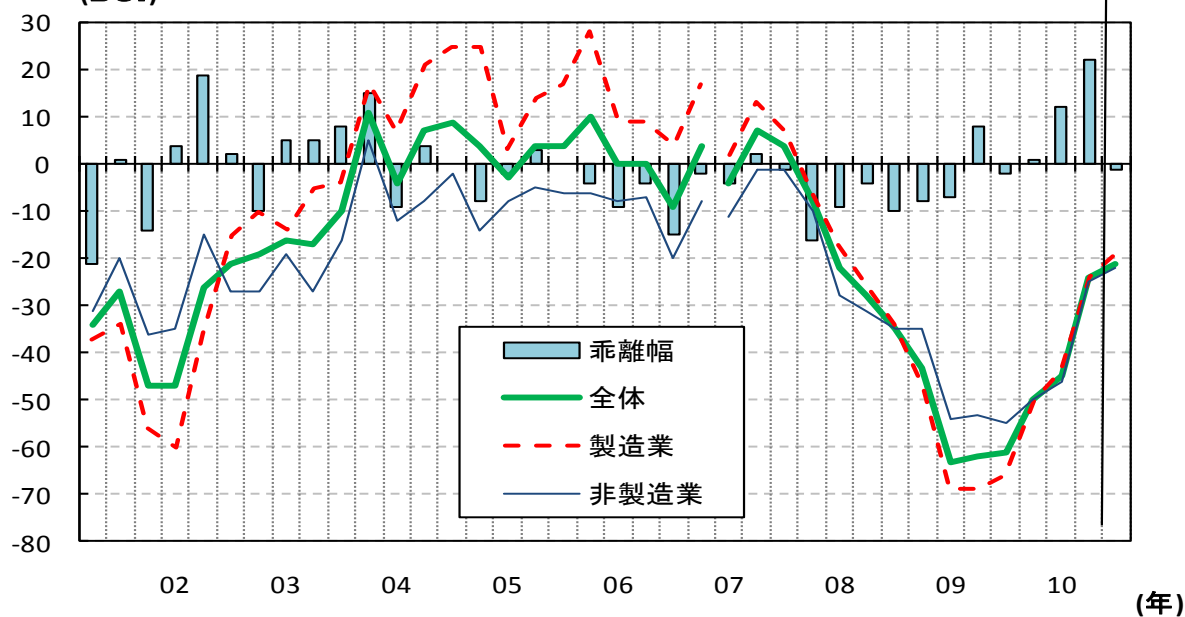
先行き（7～9月期）の業況判断BSIは-21と「悪い」超幅が若干縮小、規模別、業種別にかかわらず、小幅ながら引き続き持ち直す見通しとなっている。

以上のように、県内企業の業況感は、海外需要の増加、IT需要の回復に伴う売上（生産）高の回復を背景に持ち直しの動きが鮮明になっている。先行きの業況感は、製造業を中心に引き続き持ち直す傾向にあるものの、ギリシャの財政問題に端を発する円高や、鉄鉱石など国際的な資源高が波及してくる懸念材料などもあって、持ち直しの動きが緩慢なものにとどまる見通しとなっている。

図表1. 業況BSIの推移

(BSI)

(注) 乖離幅＝今回調査の実績BSI－前回調査時点の予測BSI



(注) 2007年1～3月期調査から調査対象企業の見直しを行ったことから、2006年10～12月期以前と2007年1～3月期以降の数値は連続しない。

1. 業況判断BSI（「良い」－「悪い」）～持ち直しの傾向が鮮明に～

今回調査の業況判断BSIは大きく改善し、足元の県内企業の業況感は持ち直しの傾向が鮮明になっている。

製造業では、規模の大小にかかわらず大きく改善している。特に、前回までは加工組立型の中でも輸送用機械と精密機械が主体であったが、今回はいずれの業種も大幅に改善している。さらに、この傾向が素材型の業種にも広がりを見せていることが特長となっている。非製造業でも、全体では持ち直しの傾向が強まっている。

図表2. 規模別・業種別業況判断BSI

	2008年	2009年				2010年			2010年 7～9月 (見通し)
	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	前回予想	
全体	-43	-63	-62	-61	-50	-45	-24	-46	-21
100人未満	-43	-58	-64	-63	-54	-52	-28	-51	-26
100人以上	-42	-68	-59	-58	-46	-37	-19	-41	-14
製造業	-47	-69	-69	-66	-51	-44	-24	-46	-19
100人未満	-43	-61	-69	-71	-51	-49	-24	-47	-22
100人以上	-52	-77	-69	-60	-50	-38	-23	-44	-16
素材型	-47	-66	-70	-63	-39	-35	-21	-38	-11
繊維・衣服・その他の繊維	X	-60	-75	-60	-40	-33	X	-67	X
木材・木製品・家具	-67	-63	-100	-100	-67	-60	-50	-80	-50
パルプ・紙・紙加工品	-57	-50	-70	-58	-20	-44	-9	-22	27
化学・石油製品・プラスチック・ ゴム製品	-27	-57	-36	-42	-19	-40	-27	-20	-18
窯業・土石	-29	-56	-60	-80	-57	-60	-33	-60	-17
鉄鋼・非鉄金属	-83	-92	-82	-91	-85	-45	-25	-55	-17
金属製品	-18	-77	-90	-44	-17	0	14	-27	-7
加工組立型	-55	-89	-88	-78	-63	-55	-22	-65	-20
一般機械器具	-25	-80	-88	-71	-62	-72	-53	-78	-47
電気・情報通信機械器具	-64	-92	-93	-63	-50	-60	-23	-79	-23
電子部品・デバイス	-83	-100	-92	-100	-86	-67	-11	-50	0
輸送用機械	-58	-100	-90	-91	-55	-31	8	-50	0
精密機械	-54	-75	-73	-82	-73	-29	-18	-57	-20
生活関連型	-39	-42	-38	-53	-53	-46	-39	-25	-30
飲・食料品	-25	-29	-17	-43	-25	-33	-23	-13	-8
印刷・同関連業	-55	-58	-58	-80	-100	-67	-60	-44	-60
その他製造業	-11	-38	14	0	-33	-13	-14	-13	-43
非製造業	-35	-54	-53	-55	-50	-46	-25	-47	-22
100人未満	-42	-53	-58	-53	-58	-57	-33	-56	-32
100人以上	-28	-54	-47	-57	-39	-34	-15	-37	-11
建設	-55	-50	-76	-71	-55	-68	-52	-64	-64
住宅建設	-36	-71	-29	0	-25	9	18	9	18
卸売	-46	-55	-47	-55	-69	-47	-42	-67	-42
小売	-24	-65	-52	-74	-65	-45	-19	-50	-10
運輸・倉庫	-27	-44	-59	-57	-38	-53	-13	-53	-7
不動産	-55	-62	-58	-44	-33	-38	-20	-25	0
その他非製造業	-18	-32	-44	-53	-41	-45	-17	-40	-17

(注) 表中のXは、回答企業数が少ないため、該当数値を表示しない箇所である。

2. 売上（生産）高 BSI（「増加」－「減少」） ～製造業の改善が著しい～

製造業では、素材型、加工組立型、生活関連型のいずれも大幅に改善しているものの、非製造業では運輸・倉庫などが持ち直しているが業種によってバラツキがある。

図表3 業種別規模別売上(生産)高 BSI

	09年10～12月期	10年1～3月期	10年4～6月期	7～9月期(見通し)
全体	-9	-16	-6	9
製造業	-1	-16	3	10
非製造業	-21	-16	-18	8
規模の小さい企業	-18	-28	-17	8
規模の大きい企業	0	-3	7	11

3. 経常利益 BSI（「増加」－「減少」） ～持ち直しつつあるが、依然低調～

製造業では素材型を中心に総じて持ち直しつつあるが、非製造業では改善と悪化でほぼ二分している。

先行きについては、製造業が電子部品・デバイスや化学・石油製品・プラスチック・ゴム製品で回復し、非製造業は、いずれの業種も回復の見通しとなっている。

図表4 業種別規模別経常利益 BSI

	09年10～12月期	10年1～3月期	10年4～6月期	7～9月期(見通し)
全体	-11	-18	-14	1
製造業	-3	-18	-9	-1
非製造業	-22	-19	-21	4
規模の小さい企業	-25	-33	-23	-3
規模の大きい企業	3	-3	-4	7

4. 海外需要 BSI（「増加」－「減少」） ～製造業の加工組立型業種で好調～

製造業の中でも加工組立型の輸送用機械、電気・情報通信機械器具、電子部品・デバイスが好調となっている。

図表5 海外需要 BSI

	09年10～12月期	10年1～3月期	10年4～6月期	7～9月期(見通し)
全体	0	8	9	7
製造業	0	14	12	11
非製造業	0	-8	2	-2
規模の小さい企業	1	3	11	9
規模の大きい企業	-1	13	8	6

5. 生産（販売）設備BSI（「過大」－「不足」）～「過大」超幅が僅かに縮小～

製造業では、ほとんどの業種が「過大」超となっている。非製造業は、建設が「過大」超の一方、住宅建設と小売が「不足」超となっている。

図表6 生産(販売)設備BSI

	09年10～12月期	10年1～3月期	10年4～6月期	7～9月期(見通し)
全体	18	14	9	6
製造業	27	23	16	12
非製造業	3	0	0	-3
規模の小さい企業	20	13	7	4
規模の大きい企業	16	15	12	9

6. 雇用人員BSI（「過剰」－「不足」）～「過剰」超幅が横ばい～

製造業及び非製造業ともに概ね「過剰」超にあり、規模の大小にもかかわらず「過剰」超になっている。

図表7 雇用人員BSI

	09年10～12月期	10年1～3月期	10年4～6月期	7～9月期(見通し)
全体	20	13	14	10
製造業	27	24	19	13
非製造業	8	-2	6	6
規模の小さい企業	25	16	13	11
規模の大きい企業	13	10	14	9

7. 資金繰りBSI（「楽」－「苦」）～ほぼ横ばい～

徐々に改善しつつあるものの、全体として「苦」超となっている。

図表8 資金繰りBSI

	09年10～12月期	10年1～3月期	10年4～6月期	7～9月期(見通し)
全体	-4	-5	-4	-6
製造業	-1	-3	-1	-1
非製造業	-10	-8	-7	-12
規模の小さい企業	-10	-10	-9	-10
規模の大きい企業	2	2	2	0

(以上)